

な か む ら は る き ち

中村春吉

(1872 ~ 1945)

くれしゆたかまちみたらい
～ 呉市豊町御手洗出身 1902年から約1年半で日本人初の自転車世界一周冒険旅行を貫徹 ～

明治時代、自転車で世界一周した快男児がいた！

徒歩ではいくらなんでも時間がかかりすぎるだろうし、

馬はえさ代がかかる。自動車はえさは食わんが、燃料が必要だ。

すると残るのは… 自転車しかない！

明治35年2月23日、ひとりの青年が、横浜港を旅立った。

くもん出版 横田順彌著「わがはいは中村春吉である。」文中より抜粋

明治半ば、30歳の春吉は商業視察のため世界一周に旅立ちましたが、最も経済的な移動手段として自転車を選びました。

彼が自転車で世界一周をしたという事は多くの人に勇気を与え、現代のサイクリストからも尊敬の念をもって慕われる存在になっています。

過酷な冒険旅行をした勇気のみならず、無事に帰って来た事にあやかって、彼の故郷でもある御手洗地区は自転車の聖地として広く知られつつあります。



なかむらはるきち

中村春吉年表



西 暦	和 暦	春吉年齢 (一部推定)	出 来 事
1871年	明治4年		御手洗にて生まれる
1893年	明治26年	22歳	ハワイに移住
1897年	明治30年	26歳	ハワイより帰国
1898年	明治31年	27歳	下関で英語塾を開くが、外国人教師と生徒の対立により閉鎖 その後しばらくして海外貿易に携わろうと思いつ
1902年	明治35年	31歳	海外貿易の前段階として海外事情を視察するため、 自転車による世界一周無銭旅行に出発する
1903年	明治36年	32歳	世界一周旅行から帰国 帰国後は一所に定住せず、満州などを転々としていたが、 これについては軍事探偵だったという説がある また大正時代に入っては、霊道法という精神的医術の普及に 努める
1923年	大正12年	51歳	関東大震災の被災地で霊道法によるボランティア治療をする
1925年	大正14年	53歳	東京四谷に「中村霊道治療所」を開設する
1928年	昭和3年	56歳	治療所を門弟に任せ、御手洗へ帰郷
1945年	昭和20年	74歳	御手洗にて永眠



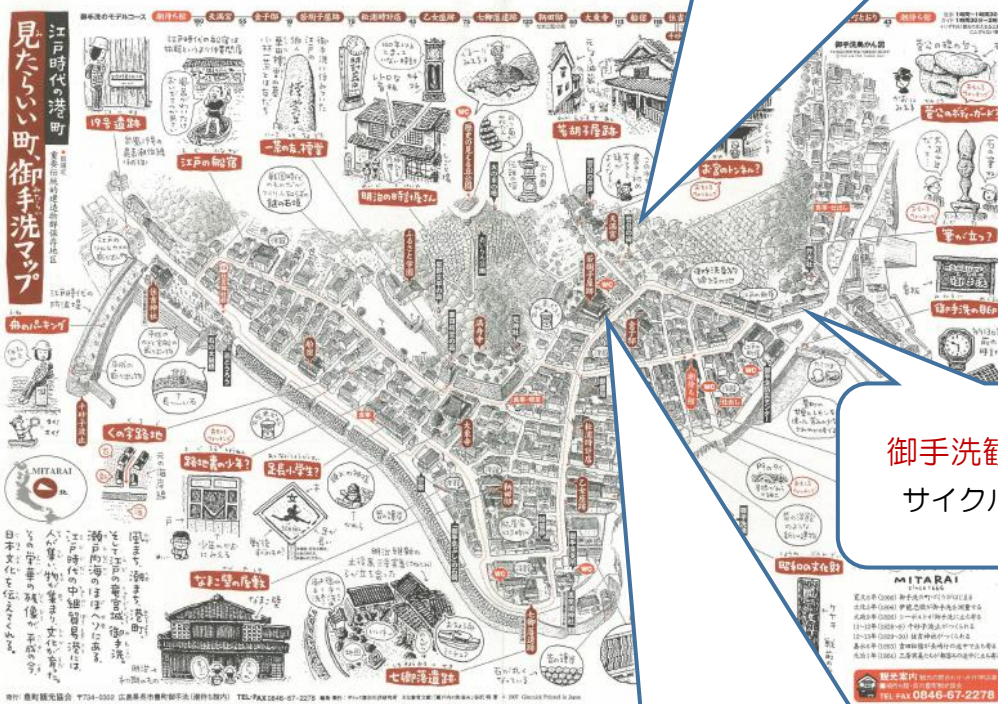
御手洗町並み保存地区で中村春吉の足跡をたどる

☆ 「見たらいい町、御手洗マップ」は御手洗観光案内所などで配布されています。



中村春吉碑

天満神社参道には、霊道法のお弟子さんたちが建立された碑の横に重伝建の皆さんによる写真入りの石碑があります 石碑の奥には春吉の生家も。



御手洗観光案内所
サイクルラック有

春吉自転車レプリカ

わかえびすやあと
県史跡若胡子屋跡には、春吉の自転車をイメージしたレプリカを展示しています。写真撮影は大歓迎ですが、お手を触れないようお願いいたします。



毎年4月に春吉を題材にした「サイクリングとびしま春吉ライド」も開催されています。詳しくはNPO 法人瀬戸内サイクルメディアのページへ！

<http://npo-scm.wix.com/setouchi>

